

## 飛驒山脈ジオパーク構想 ジオサイト(第4章)

### 笠ヶ岳の横縞模様

新穂高ロープウェイに  
乗り、終点の屋上展望台  
(2156m)から眺める  
と、正面に笠ヶ岳の山体が目  
に入ります。

麓の奥飛驒温泉郷や高山市  
街から見ると、山頂部が笠形  
をしていて見分けやすい笠ヶ  
岳は、日本百名山にも数えら  
れ、山全体が高山市内に属す  
る高山市の伝統的な山です。

写真のように、笠ヶ岳の山  
腹には横縞模様が目立ちま  
す。これは1000mを超え  
る厚さの火山堆積物の地層を  
横から見ているためです。笠  
ヶ岳は今から6500万年前  
に噴火した溶岩や高温の噴出  
物が順に積もって形成されま  
した。

これらの地層は、それぞ  
れ硬さや水分の含まれ方が  
異なり、表面のでこぼこや植  
物の生え方に違いが出来まし  
た。そのため、遠くからでも  
横縞模様がはっきりと見ら  
れます。古い火山の内部を  
1000mの厚さで観察でき  
る場所は世界的にも非常に珍  
しいです。

昔の火山の内部が見える理

由は、横縞模様部分の全体が  
垂直に1000m以上も陥没  
した所に堆積したからです。  
大地の中へ陥没したため、そ  
の後の長い年月の浸食を免れ  
ました。また、周りが侵食で  
削られ、深い谷になっても、  
岩石がとても硬いため笠ヶ岳  
は山として残りました。隣の  
錫杖岳もそうですが、硬い岩  
石が侵食されると、絶壁が出  
来ます。

このような笠ヶ岳の生い立  
ちは、飛驒山脈のほかのどの  
山々とも異なっています。新  
穂高ロープウェイに乗る機会  
があったら、ぜひ笠ヶ岳の横  
縞模様を探してみましよう。  
(飛驒地学研究会 岩田修)



問合先

飛驒山脈ジオパーク  
推進協議会

☎0578-84-0038